

会議名	第3回厚木市観光振興推進委員会
日時	令和2年2月18日(火) 13時30分～15時30分
場所	厚木市役所本庁舎3階特別会議室
出席者	出席者 11人 厚木市観光振興推進委員会委員8人 オブザーバー1人(一般社団法人厚木市観光協会専務理事兼事務局長) 事務局3人(観光振興課長、観光振興係長、観光振興課主事)

会議の経過は次のとおり。

1 開 会 観光振興課長

2 挨拶 委員長

3 案 件 議事進行：委員長

(1) 令和元年度事業の実施報告について 説明：事務局、オブザーバー
資料1に基づき説明。

観光協会実施事業について説明。

【意見等】

(委員) ぐるっと丹沢・大山×宮ヶ瀬スタンプラリーは既に実施しているのか。

(事務局) 2月1日から実施している。

(委員長) 丹沢大山観光キャンペーンの実施状況は。

(事務局) 小田原駅の改札口周辺で各市町村のパンフレットを配布し、多くの駅利用者へPRを行った。3月には新宿駅で同様のキャンペーンを実施する予定。

(2) 令和2年度事業について 説明：事務局
資料2に基づき説明。

【意見等】

(委員) 観光プロモーション事業補助金の対象は。

(事務局) 今年度、小田急電鉄・厚木市観光協会の連携事業に対し補助金を交付した。次年度についても、交通事業者と連携した事業に対して交付する予定である。

(委員長) 観光資源体験事業について、対象は市内在住か。

(事務局) 対象は、市内在住、在勤、在学の方にする予定。

(委員長) 市広報で募集する予定か。

(事務局) 主に市広報での募集だが、事業者については市観光協会と協議し決めていきたい。

(委員) 日程や募集人数など具体的な内容は決まっているのか。

(事務局) 具体的な内容は決まっていないが、厚木市の観光資源をコースに盛り込む予定である。対象者については、市内ホテルなどに勤務している方にも参加していただき、厚木の観光資源を知っていただきたいと思っている。また、委員の皆様にも参加していただきたいと思っている。

(委員) ホテル協議会でも市内の観光資源を巡るツアーを企画していたが、新型コロナウイルスの関係で中止になってしまった。

(事務局) フロントで接客している方などに本市の観光資源や食について知っていただきたいので是非参加いただければと思う。

(オブザーバー) ホテル協議会で実施しようとしたのであれば、ホテル協議会で実施してもらうなど、事業の実施方法を検討してはどうか。

(委員長) 市民と事業者は一緒の方がいいのか。

(オブザーバー) 別々の方がいいと思う。過去に実施したモニターツアーでもあったが、市民の目線で楽しみで来られる方と、事業者の仕事で来ているという目線は交えない方がよい。

(委員) 過去に実施したモニターツアーの内容は。

(オブザーバー) J Aあつぎ夢未市や宮ヶ瀬ダムなどを巡った。昼食には、市内で人気のお店を手配した。市内で大型バスで回れる場所が多いので市内で完結させる事業として実施してもよいと思う。

(委員) その時は市広報で募集したのか。

(オブザーバー) 市広報、チラシ・ポスターで募集したが、すぐに定員になった。次年度実施してもすぐに集まると思う。アンケートの満足度は全体的に良かった。市内のツアー4,000円程度で巡れるのは魅力的だと思われる。

(委員) 参加者の割合は。

(オブザーバー) 市外4割市内6割の参加者であった。

(委員長) 市外から需要があるのか。

(オブザーバー) 市内外から注目されている。日帰りツアーはビジネスモデルで積算すると6,000円~7,000円はかかってしまうが、モニターツアーということで市から補助が出て4,000円の負担で市内の観光資源を巡れるツアーになっているため、参加者はすぐに集まる。

(委員) 参加したが、雨で収穫体験ができなかったのは残念だった。他の参加者の方は熱心にメモを取っている方もいた。せっかく近くに東京農業大学があるので何か連携できないかと思った。

(委員) おもてなし補助金は次年度も実施するのか。また、事業の補助対象は、翻訳機の購入なども含まれるのか。

(事務局) 次年度も実施する。翻訳機購入も対象になる。また、今年度厚木市観光協会が活用した神奈川県を受入環境事業補助金も次年度実施する予定なので、事業者の方にはぜひ活用していただきたい。

(オブザーバー) 市と県の協調補助もできるので、大きな事業を実施する場合は活用した方がよい。

(委員長) ホテルの外国人の受入対応は。

(委員) ホテルの経営規模によって差が出てしまっている。フロントでの外国語対応ができるホテルとできないホテルがあるため、翻訳機の購入などで対応する。

(委員) 飯山白山森林公園の整備が始まるが、令和3年以降のあつぎ飯山桜まつりについては実施するのか。

(事務局) あつぎ飯山桜まつりについては、厚木市が主催であるので、令和3年度以降についても実施をしていきたい。桜の広場整備事業の中で桜の樹木の植え替えなども実施しより

よいお祭りになるようにしていきたい。

(委員長) 観光プロモーション動画について、動画共有サイトなどにアップした際の外国語対応は。

(事務局) 外国語対応はしていない。動画自体がどのような媒体でも使えるように音声がない仕様で作成している。今後、情報発信としての効率を考えながら事業を進めていきたい。

(オブザーバー) 来年度、市観光協会のホームページをリニューアルする。スマートフォンで見られる方が多いので、スマートフォンに特化したページの構成を考えている。また、観光情報が、市のホームページと情報が重複しないように、協会のホームページに情報は一元化している。

(委員長) 市としてはどうか。

(事務局) イベント情報について、近年一元化しているが利用者のことを考え進めていきたい。観光情報については協会のホームページでPRを図りたい。

(事務局) これ以外の事業として、広域行政連絡会で手書き風のイラストマップの作成を予定している。

(3) 観光振興に係る意見交換について

【意見等】

(委員) 今年の鮎まっりの開催は。

(事務局) 10月24日、25日で開催をする。内容については、鮎のつかみどり以外を秋に実施する予定でいる。季節が変わるので、催し内容を工夫して実施していきたい。

(委員) 広域連携でのイラストマップもいいと思うが、自治体、観光協会が協力し受入体制を整備してはどうか。大山・宮ヶ瀬があるので市町村を越えた連携体制や意見交換ができる場づくりをお願いしたい。

(事務局) 現在、広域行政連絡会において、今後の観光振興戦略について、取りまとめを行っている最中である。地元、七沢・飯山地区の方とも協議し進めていきたい。

(委員) 手書きのイラストマップの業者についてはどのようにして決定するのか。

(事務局) 事業が採択されていないが、もし事業が実施できるのであれば、年度中に仕様を作成し、プロポーザルやコンペ方式、又は指名競争入札で決定する予定である。

(委員) 一般公募などは実施しないか。

(事務局) 参考にさせていただく。

(委員) 広域行政連絡会の戦略について、自治体や観光協会など連携していただければ、観光ボランティア協会で実施する事業などの調整もスムーズにいくと思う。

(委員) 交通事業者として何ができるか検討したい。駅前のサービスセンターでの外国人対応が進んでいない。市や観光協会でも外国語パンフレットなどがあれば提供してほしい。また、社内報で厚木市の観光情報を掲載しPRが図れる。バスの案内などもインバウンド対応ができていない、交通事業者として少しずつ対応していかないといけない。

(事務局) 外国人モニターツアーのアンケートにバスの利用は難しいという意見があった。今後、交通事業者と連携しインバウンド対応について検討していきたい。また、サービスセンターには外国語のパンフレットだけでなく、市や観光協会で作成する観光パンフレットを配架していただきたい。

(委員長) 日本はタクシー料金が高いので、バスでの移動を希望する人が多いと思うが、利用が難しい理由は。

(委員) やはりコミュニケーションだと考えられる。専門スタッフがいればいいがそこまで手配できてはいない。また、日本の方でも、市外、県外から来られた方はバス路線は分かりづらい。外国の方は、更にわかりづらいのかもしれない。

(委員) バスの路線がアプリを利用しないとわからないことがある。

(委員) 観光資源に対しての簡単な案内があればいいと思う。

(委員) いろいろなパンフレットがあるが、クーポンなどは載せれないのか。

(オブザーバー) 過去にクーポンをつけたパンフレットもある。市の事業では難しいが、協会の作成するパンフレットには掲載は可能である。

(委員) 店舗の選定は。

(オブザーバー) 観光協会の会員から選定している。

(委員) 丹沢大山の市町村とは連携はとれていると思うが、海老名市や座間市との連携はどう考えているか。

(事務局) 広域連携については相模川以西のみであり、海老名市や座間市とは観光面での連携はできていないので今後検討していきたい。

(委員) 平塚市とはどうか。

(事務局) 観光面での連携はできていない。厚木市に来てもらう観光PRは図ることができると考えられる。

(委員) 新型コロナウイルスについて、厚木市でのイベントの対応は。

(事務局) 現状では、消毒液の設置、咳エチケットの励行を行っている。市の方針について今後検討しなければいけない。

(委員長) 1月以降宿泊施設への影響は。

(委員) 今のところ影響はない。

(委員長) 今後、国などからガイドラインなどが示されるのでは。

(事務局) 示されれば、対応していきたい。

(委員) 厚木市にあって、座間市や海老名市にないものなどを考えている。そういったものをPRし厚木に来てもらえるように考えてはどうか。

(事務局) 厚木の観光資源をPRしていきたい。海老名駅でキャンペーンを実施したときに海老名駅利用者は厚木に詳しくった。思わぬところで厚木への誘客が図れているのかもしれない。

4 その他
特になし

5 閉 会